

新報

島根県教育庁
隠岐教育事務所
隠岐の島郡瀬戸町24
電話 2-9772

学校訪問を 振り返って

今年度も管内の各学校には学校訪問等で大変お世話になりました。

先日ご協力いただいた学校訪問指導に関する調査結果と合わせて一年間を振り返ります。

「学校訪問指導を通しての助言指導は、各学校の教育活動やOJTの充実に生かすことができるものでしたか。」という質問に対し、どの訪問に対しても「十分できた」「できた」という評価を得ており、概ね学校の期待に応えることができました。「十分できた」と回答のあった割合を見てみると、

- I 計画学校訪問
- A 学力育成 三十七%
- B 生徒指導 四十一%
- C 特別支援 四十一%

II 申請学校訪問指導

- D 学力育成 六十二%
- E 特別支援 六十七%
- F 初任研等 七十五%

でした。比較的评价が高いのは、「II申請学校訪問指導」で、学校が主体的に希望される訪問の方が、肯定的な評価をいただいています。「(研究指定の)授業公開前には、継続して指導・助言をしてもらうことができ、良かった。」「指導案の検討や研究の計画の段階から助言をもらい、大変助かった。」「学校側のニーズを受けとめながらの指導がありが良かった。」「申請訪問として正式な依頼ではなかったにも関わらず、臨機応変に対応してもらって良かった。」などのご意見からも、今後より一層、学校のニーズや要望に応えられる関わりをしていくことが大切だと考えられます。

【来年度の学校訪問について】

指導主事を活用しようとする機運の高い隠岐管内におきまして、これまでのやり方を生かしながら、より効率的・効果的な方法を検討してきました。改善の方向性は次の通りです。

①「各学校のOJTが機能すること」を大切にします。

研究、生徒指導等、組織的な取組の推進役を担う担当者への支援を行います。具体的には、

・研究主任への支援体制を作ります。新たに研修を設けるのではなく、研究主任の相談窓口を設けたり、各学校の教務主任を結び付け連携できるように配慮したりする方法を考えていきます。

・特別支援教育に係る担当者、生徒指導に係る担当者へは、これまで通りの支援体制で取り組んでいきます。定期の訪問を通して、各学校の実態や要望を把握し、相談にのったり助言指導を行います。また、特別

社会教育を 振り返って

【ふるさと教育の充実】

各中学校区で作成した「ふるさと教育全体計画」等を基に、派遣指導主事と派遣社会教育主事が連携して関わり、ねらいの焦点化と系統性の明確化を図ってきましたが、まだ十分とは言えません。

今後は、派遣指導主事と派遣社会教育主事の連携を深め、より積極的に関わることでねらいの焦点化と系統性の明確化を進めていきます。そして、そのことを活用し「ふるさと教育ネットワーク会」がより効果的に機能できるように支援していきます。

また、地域においては、公民館事業等を活用し、子供たちとともに、大人がふるさと隠岐の魅力や価値に気づき、理解を深める機会を増やすことで、地域を支える次世代の育成を進めていけるよう働きかけます。

【学校家庭教育支援体制の整備】
「結集！しまねの子育て協働プロジェクト」を推進し、



(文責 森)

各町村が協働本部を設置し、組織的な充実を図り、学校関係者や地域関係者がより連携して取り組めるよう支援してきました。各町村とも、地域と結びついた活動となりつつあります。

今後は、各地区の協議会をより活性化し学校と地域がより深く話し合い、町村や各校の実態に即した活動内容になるよう支援していきます。

【地域を担う人材の育成】
地域を担う人づくりを意識した公民館事業として下記の事業を行いました。

- 西ノ島町中央公民館
「図書館を核とした人づくり事業」
 - 都万公民館
「廃校と学校キャンプを活用した地域活性化プロジェクト」
 - 布施公民館
「サマーキャンプ」
- 今後は、効果的な研修を計画し公民館職員等のスキルアップを目指すとともに、地域課題解決をテーマにした公民館事業の推進を支援していきます。

(文責 林)